

## 交換留学(派遣) 帰国報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	バーゼル大学
留学先での所属学部・研究科:	Faculty of Humanities
留学先での在籍身分:	学生
留学期間:	2019年 9月 7日～ 2020年 1月 6日
神戸大学での所属学部/研究科:	国際人間科学部
学年(出発時):	3
帰国日:	2020/1/6
本報告書記入日:	2020/1/22



1. 留学先大学について			
1-1	学年開始月日:	9月 17日	
	学年終了月日:	12月 18日	
	学期:	①	9月 17日～ 12月 18日
		②	月 日～ 月 日
③		月 日～ 月 日	
④		月 日～ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	特徴:提携の特性上、全学部の授業を受講することが可能 人気分野:薬学	
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。		
	語学面でのサポート:	ドイツ語の授業を、授業料大学負担で受講可能	
	勉学面でのサポート:	特になし	
	精神面でのサポート:	特になし	
	住居・生活面でのサポート:	WoVeという寮を扱う組織を大学が紹介してくれた	
	課外活動のサポート:	ESNが様々なイベントを開催	
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>	
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	いいえ	

2. 住居について		
2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	早目に安い量を申し込むべき。WoVe保有の量は料金が高くなり高く、避けることが望ましい。

3. 生活について		
3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	Wi-Fi代は寮費に含まれている
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	接続可能
3-2	医療について 留学期中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	学研災で全額戻ってくる
3-3	銀行口座等について 留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	デビットカードや、郵便局での振り込み

4. 経費について(奨学金、留学費用)		
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	
	支給額(円/月):	¥80,000
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。 (概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	16,000円
	住居費:	(月額) 80,000円 × (留学月数) 4ヵ月 = 320,000円
	食費:	(月額) 50,000円 × (留学月数) 4ヵ月 = 200,000円
	保険料:	6,000円 × (留学月数) 4ヵ月 = 24,000
	その他:	???円
	合計(留学期間全体の費用):	1500,000円
5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	多様な国の文化が混ざり合っています
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	数人のスイス人と、大学外でコンタクトを持っていた
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	していない
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	安全です
6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	ポストンキャリアフォーラムへの参加、国内インターンシップへの事前応募
7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	特になし
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	日本食
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	語学力、考える力、他文化理解
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:( ) 点 → 帰国後:( ) 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	蕁麻疹になったこと
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	特にサポートはなく、自力で解決せざるを得なかった
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	スイスという国に行きたいのならばお勧めします。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。 (5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)	
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	4
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	1
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	5
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	1
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか	1
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	1
・留学全体の総合的な評価	5	

## 8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

スイスという国は、公用語が4つあることが示している通り、多様な文化が国内に混在しています。かつドイツ・フランスと国境を共有しており、かつヨーロッパの中央に位置しているため他国へのアクセスが非常に良いです。私の留学の目的は、文化や人なども含め「世界を知ること」でしたので、スイス、しかもこのバーゼルという3国国境に位置する地域への留学は最高の選択だったといえます。また、スイスは平均年収世界1位で物価もとても高いため、なかなか旅行では長期間行くことが難しい国です。そんな国を留学という”住む”行為を通じて深く探求できるのは、他にあまり例のない貴重な体験だったと今になって思います。

では実際スイスへ留学に行くことがどんなことが学べるのか、参考程度に記したいと思います。まず一つ目は移住についてです。移民ではなくあえて移住と書かせていただいたのですが、そこには理由があります。スイスは先に記した通り、多様な文化が混在しています。それを定量的な観点でとらえた際に、ルーツがスイス以外にある人の割合が非常に多いです。純スイス人という方は少なく、親の片方が外国という場合が多いです。これはネガティブというよりかはポジティブな理由で移り住んだ方が多く、移民問題とは少し違ったユニークなトピックを研究できるのではないかと感じました。

次に2つ目は、給与制度と物価についてです。留学へ行く前は物価の高さは北欧のように税制度によるものだと思っていました。しかし実際はそうでなく、給与の高さに比例して物価も高くなっているのです。この仕組みは働く”ヒト”を一番に考えた仕組みで、労働対価としてふさわしい給与を設定した後に物価を決めているのだ。このヒトを重視した仕組みは非常に興味深く、スイスならではのトピックなのではないかと思えます。

他にも時計産業やバーゼル特有の現代建築などの芸術分野も、スイス特融のトピックです。このようにはハイジ以外にあまりイメージの無い国ですが、特有のトピックはたくさんあります。他にもトピックとなり得る特徴はたくさんありますので、興味があればぜひご連絡ください。

あと最後になりましたが、「なぜ留学をするのか」ということを明確にしましょう。～を勉強したいからだけではなく、それを勉強してどうしたいのかというところまで突き詰めて、留学の明確な軸を持ちましょう。就職活動においてよく「なぜそうしたのか」と問われるのですが、それは人生における様々な選択にしっかり意図をもってしているかを聞いています。それは留学に関しても同じで、自分の人生の分かれ道をいかに納得感をもって選択できるかが、社会にでて必要なことであることを示しています。

長い人は1年費やすわけですので、自分が学生生活の1年を留学に費やす意味をしっかり考えて、臨んでほしいです！

## 1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Planetaly Histories	Kenny Cupers	2h	2	English	40名程度	テストは記述で事前に問いが分かる
2	ドイツ語	Sandra	2h	?	German	20名程度	予習の宿題が毎回ある
3							
4							
5							
6							

## ・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

全学部の授業を受講可能で幅が広いいため何か傾向があるわけではないが、英語のクラスも比較的多く、まじめに受講していれば単位所得は難しくはない。